学校行事参加型＋講演会型（中学校）

学　校　名	七宗町立上麻生中学校
実施日時	平成２７年　７月３日
会　　場	上麻生中学校　ランチルーム
参加人数	全校生徒　保護者
学習課題（分野）	情報モラル研修「インターネットの危険について」
運営者の願い	インターネットの問題は、複雑になり、深刻化する一方なので、くり返し学ぶことが大切だと考える。 具体的な事例を基に、家庭で話し合い約束作りのきっかけにしてもらいたい。

学　習　の　内　容

＜　開　会　＞

・開会あいさつ
・講師紹介・教頭先生あいさつ

＜　講　師　＞

可茂警察署　生活安全課　　平田　光司　課長

＜　講　話　＞

・フィルタリングは WiFi では利かない。
・不正請求は無視する。⇒一人で抱え込まないで、大人に相談する。
・提供元不明のアプリはインストールしない。
・GPS 機能を切らずに写真をアップすると位置を知られてしまうので注意が必要。むやみに個人情報をアップしない。
・スマホ、ケータイは便利なツールであるが、使い方を間違えないようにすることが必要。
・愛知県刈谷市の取組を紹介・・・夜９時以降はスマホを使用しない。
・ネットいじめの事例　いじめる子はさみしい子である。
警察の捜査対象になることもある。
・事件事案・・・男女間トラブル・サイバー補導・なりすまし
Facebook 等は、世界中の人に発信していることを知って、慎重に使う。

＜生徒会長　終わりの言葉＞

・話を聞いて、改めてスマホの怖さを知った。今日の話を忘れずにこれから役立てていきたい。

＜　保護者の感想　＞

・子どもにネットの怖さを知らせるよい機会になったと思う。
・警察官から実際あった事件の話を聞けたことで、スマホやインターネットの怖さを子どもたちも実感できたと思う。
・この講話を聞いた後、「スマホは怖いからいらない。」と言っている。ただの電話ではないことがわかったようで、よかった。
・最初に見たＤＶＤはとてもわかりやすく、子どもたちにも伝わりやすかったと思う。

講師に警察署の生活安全課課長を招き、実際の犯罪事例が聞けて、子どもたちにリアルに危険が伝わった。

親子で一緒に講話を聞いたことで、帰宅後に話題にし、親子で話し合うことができる。